

科目名 科目コード	在宅生活支援実習 510	必修科目	3年次 2学期	実習	2単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 西田 和子				
科目担当者	医学部看護学科 西田 志穂、専任教員2名				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>在宅療養者とその家族を理解し、在宅看護活動を展開するための基本的な知識・技術・態度を習得する。さらに、継続看護の重要性と多職種との連携・協働について理解する。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅療養者およびその家族の思いや価値観・生活環境（住環境、家族環境、経済状況等を含む）・生活スタイル・健康上の諸問題について総合的に把握し、個々の特性を踏まえた支援の方向性を導出することができる。 2) 在宅療養者およびその家族の健康問題に対し、その問題解決のための援助活動を通して在宅看護の展開方法を理解することができる。 3) 在宅療養を支えるための社会資源やその活用方法について理解することができる。 4) 多職種と連携・協働するなかでの訪問看護と看護職の役割について理解することができる。 				
授業計画	<p>実習施設：訪問看護ステーション</p> <p>実習期間：平成27年9月～平成28年2月</p>				【実習】
テキスト	なし				
参考書	授業で使用した在宅看護関連のテキストを持参すること。最終課題については、文献等を活用すること。				
評価方法	実習内容・記録：70% 実習態度（出席状況・態度を含む）：30%				
実習にむけての準備学習	在宅生活支援実習にあたって、臨床看護や社会保障制度および在宅看護論で学んだ知識が必要となりますので、復習して臨むようにしてください。				